

2020年12月16日

国土交通省鳴瀬川ダムへの発電参加について

当社は、国土交通省が宮城県加美郡加美町の鳴瀬川水系筒砂子川^{つっさこ}で建設を進めている特定多目的ダム「鳴瀬川ダム」に発電参加することといたしました。

当社が鳴瀬川ダムの開発に発電参加することについては、これまで国土交通省と協議を進めてまいりましたが、本日、国土交通省が「鳴瀬川ダムの建設及び漆沢ダムの建設（再開発）に関する基本計画」を告示したことにより、当社の発電参加が正式に決定したものです。

発電計画については、鳴瀬川ダム下流に「鳴瀬川発電所」（発電出力2,300kW）を建設し、ダムの共用取水設備より取水した最大3.50m³/sの発電用水を、全長約200mの水路を用いて発電所へ導水し、発電いたします。

今後は、関係機関、地元自治体をはじめ、地域の皆さまのご理解を得ながら、2028年3月の工事開始、2034年度の営業運転開始を目指し、発電計画を進めてまいります。

当社は、風力発電を主軸に、再生可能エネルギー全般について、東北6県および新潟県を中心に200万kWの開発を目指すこととしており、できるだけ早期に目標を達成できるよう、東北電力グループで一丸となり、引き続き、再生可能エネルギー事業に積極的に取り組んでまいります。

以上

（別紙）発電計画の概要